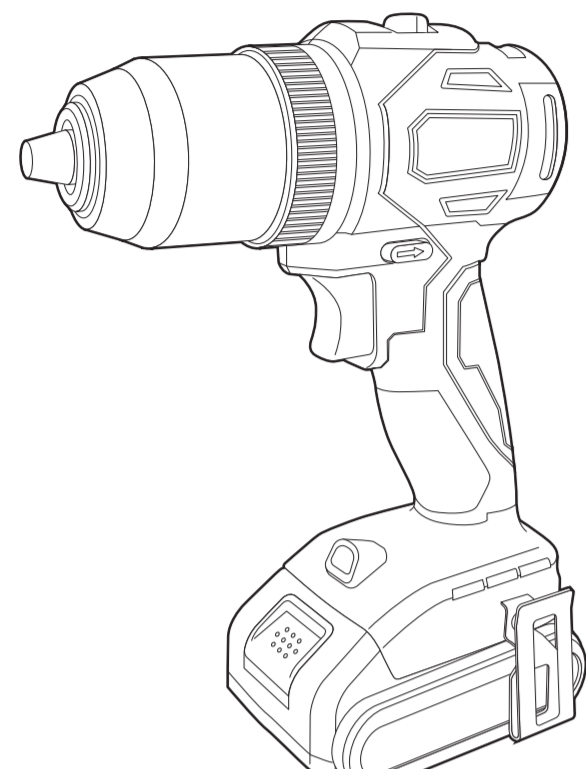


充電式ドリルドライバー DIY用

18V 本体のみ

取扱説明書



目次

●安全にご使用いただくために	1～2	●バッテリーについて	8～9
●充電式ドリルドライバー使用上の注意	3	●保守と点検	10
●各部の名称と付属品	4	●トラブルの原因と対策	10
●使用方法	5～7	●サービス保証	11

※バッテリー充電器は別売されています。

お客様へ
本製品は家庭用です。業務用にはお使いになりません。

警告 安全のため必ずこの取扱説明書をよくお読みください。本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

本機は充電式ドリルドライバーです。バッテリーを付けた状態で保管し持ち運びと不意に動く可能性があり大変危険です。使用しないときは必ずバッテリーを外してください。

安全にご使用いただくために

このたびは本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき、警告及び注意事項を厳守して安全にご使用ください。又、お読みになった後も、この取扱説明書をすぐに取り出せる場所へ大切に保管しておいてください。

以下は充電工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により含致ししないことがあります。

警告 誤った取扱いをする、人が死亡又は重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

- 1.作業をするときの服装について**
- 充電工具を使用するときは長袖長ズボン、帽子、保護メガネ等を必ず身につけてください。屋外作業するときは滑り止めのついた履物を穿たします。
 - 作業中、本工具（先端パーツ）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因になります。
 - 作業中はだぶついた衣服や、ネクタイ等は着用しないでください。
 - 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因になります。
 - 閉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用してください。

- 2.作業をする場所について**
- 作業場、作業台は堅硬で、きれいな場所で作業をするようにしてください。
 - つらいつまみ作業、作業台は事故の原因になります。
 - 作業は常に正しい場所で行うようにしてください。
 - 悪い場所での作業はけがの原因になります。
 - 充電工具のモーターが回転するとき火花が発生します。又、研削するとき研削材が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。
 - 可燃性の液体やガスが引火しますと火災や爆発のおそれがありますので、特に注意が必要です。
 - 作業場には作業者以外は近づけないでください。又、作業者以外の人には充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。
 - 作業場の近くに作業者以外の人がいる、充電工具に触れたりしますと思わぬけがの原因になります。
 - 充電工具は雨中、湿気のある場所では使用しないでください。
 - 感電のおそれがあり大変危険です。

- 3.取扱いについて**
- 充電工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
 - 不意な始動は避けてください。
 - バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - 使用前に本機に損傷がないか、正常に作業するか、工具（先端パーツ）にひび割れ、きつていないか、ねじが確実に締まっているか、工具（先端パーツ）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら販売店、又は製造元に修理を依頼してください。
 - ねじがゆるんでいたたり、工具が正確にセットされていないと本機の破損、けがの原因になります。

- 本機をご使用するときや先端パーツを交換したときは、必ず試運転してからご使用ください。
- 試運転をしないで作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
- 作業の寿命を確保するためには、定期的な点検が必要です。
- 規定の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因になり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部には絶対に触れないでください。

- 本機の点検、掃除、工具（先端パーツ）の交換等のあるときは必ずバッテリーを本機から抜いてください。又、作業後は必ずバッテリーを抜いてから保管してください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放電等をしたとき不意に起動して思わぬけがの原因になります。
- 運転中、本機の調子が悪くなった、異常に気がついたら、異常に気がついたらスイッチを切り、バッテリーを抜き、点検、修理に出してください。
- 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
- 電源コードを持って充電器を運んだり、引っぱらないでください。又、電源プラグを抜くときに電源コードを引っ張らないでください。
- 電源コードを熱、油、角のある物、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体にからまって感電のおそれがあります。
- 工具（スパス、ねじ返し用）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- 工具を本機や身近な物と一緒に運転させると思わぬけがの原因になります。
- 本機は取扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものがつりかかり固定されていないときは、材料が飛んだり振り回されて思わぬ事故の原因になります。
- 安全に効率よく作業するために、本機の能力を超えた無理な作業はしないでください。
- 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因になります。

4.バッテリー、充電器について

- 業務専用のバッテリー、充電器をご使用ください。違ったものを使用すると動作および充電ができません。又、破損、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電圧や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。又、破損、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。又、充電中は充電器の空気穴をふさいで、布などで覆わないでください。破損、火災のおそれがあります。又、充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 充電が終わりましたらバッテリーを抜き取り、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災のおそれがあります。
- 雨中、湿気の高い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは必ず十分冷却してから充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

5.手入れと保管について

- 常に本機の手入れに心がけ、長期安全にご使用ください。
- 使用後は常に湿度の高い場所に放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入れをして良い切れ味でご使用ください。
- 切れ味が悪いと仕上げ面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くなり作業効率が悪くなります。
- 本機を常に安全に効率よくご使用いただくため、定期的な点検をしてください。
- 修費、点検は販売店、又は製造元にお申し付けください。
- 作業が終わりましたらバッテリーを外し、切りこす、ほごりを取り除き、手入れをしてお子様の手のとどかない通気の少ない場所に保管してください。

充電式ドリルドライバー使用上の注意

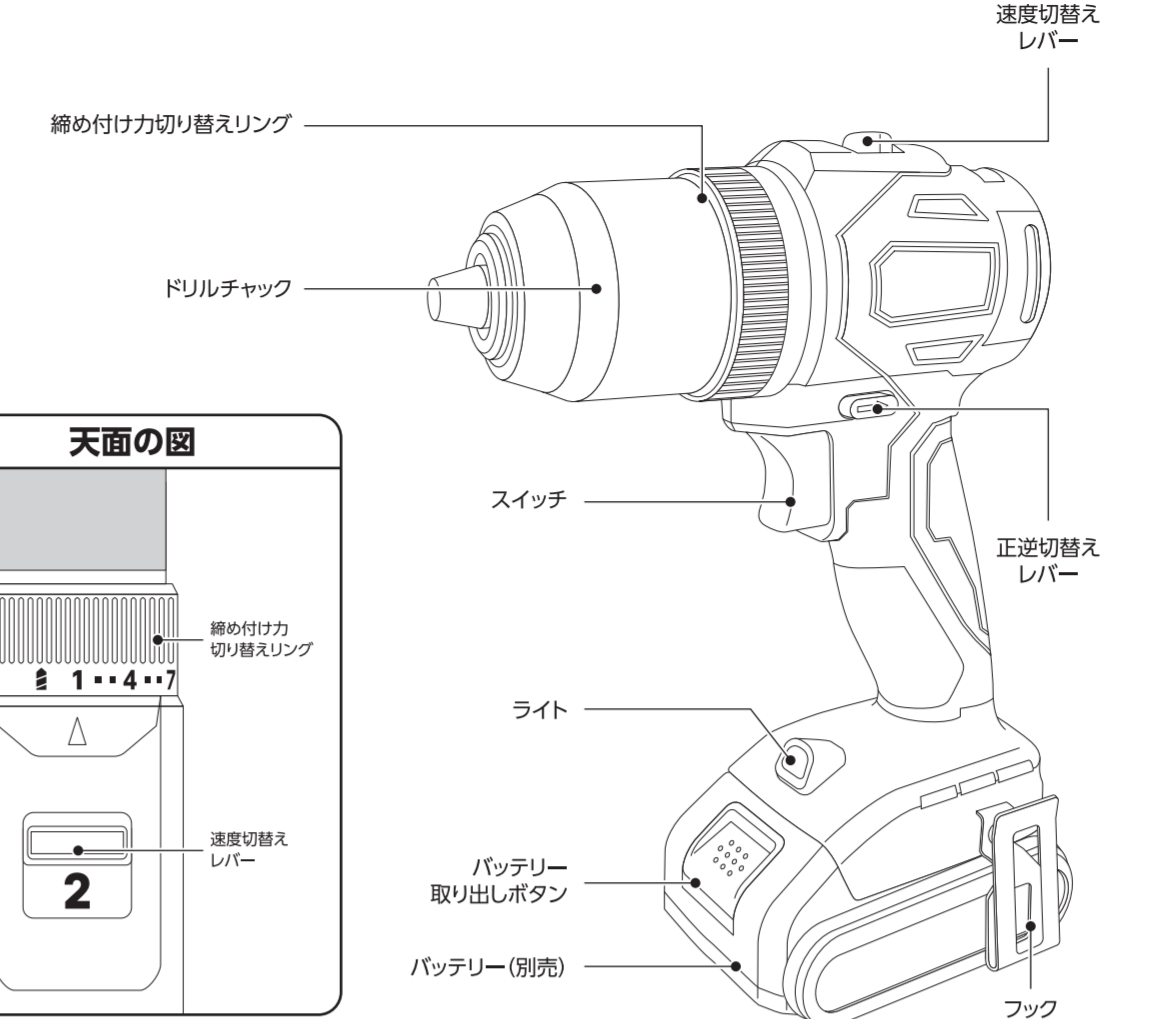
警告 誤った取扱いをする、人が死亡又は重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。

- 作業場所に電線管、水道管、ガス管等の埋設物がないか作業前に確かめてください。埋設物があると先端工具が触れ、重大な事故の原因になります。
- 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 本機前面の亀裂をふさいでください。本機が高熱となり、火災の原因となります。
- 回転中の先端工具に手や服を近づけないでください。ケガの原因になります。
- 可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないでください。可燃物の近くで使用しますと、引火、爆発の危険があります。
- 使用中、本製品の調子が悪かったり、異常音が出るときは、直ちにスイッチを切って使用を中止してください。
- 滑って落としたり、ぶつかったときは、工具類や本製品などに破損や亀裂、変形が起ることをよく点検してください。

注意 誤った取扱いをする、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

- 工具類（ピンなど）は取扱説明書に従って確実に取付けてください。作業中にはずれて思わぬケガの原因となります。
- 高い場所や作業するときは、下に人がいないことを確かめてください。材料や本機を落とさせたと事故の原因になります。
- 必用時は、巻き込まれるおそれのあるもの（ネクタイ、軍手など）は着用しないでください。回転部に巻き込まれて、ケガの原因になります。
- 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。
- 細径ドリルは折れやすいので注意してください。飛散して、けがのおそれがあります。

各部の名称と付属品



付属品の明細

①両頭ビット(+2.65mm)×2	②フック×1	③取扱説明書(本機)×1
-------------------	--------	--------------

仕様

入力電圧	18V	本体サイズ	220×165×75(mm)
最大稼働トルク	40N・m	本体重量	約1.28kg*
無負荷回転数	低速/約0～400min ⁻¹ 高速/約0～1800min ⁻¹	ドリルチャックサイズ	1.5～13mm

*20℃/50%湿度条件下 YBP-1815(標準)状態
※改良のため、主要部品形状などに変更する場合がありますので、ご了承ください。

使用方法

警告

- 本機専用の充電器、バッテリーをご使用ください。違ったものを使用すると充電ができません。また、破損、損傷のおそれがあります。
- 充電器は、ラベルに表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。表示を超える電圧や直流電源、エンジン発電機では異常に発熱して火災のおそれがあります。
- 温度は、10℃～40℃の範囲で充電してください。範囲を超えますと十分な充電ができません。また、破損、火災のおそれがあります。
- 充電は換気の良い場所で行ってください。また、充電中は充電器の温度が上昇しているときは必ず十分冷却してから充電ができません。
- 充電が終わりましたらバッテリーを抜き取り、電源プラグを抜いてください。放置しますと火災の恐れがあります。
- 雨中、湿気の高い場所では充電しないでください。感電のおそれがあります。
- 連続使用又は連続充電で充電器及びバッテリーの温度が上昇しているときは、十分な間隔をあげ、温度が低くなってから充電してください。バッテリー、充電器の温度が上昇しているときは必ず十分冷却してから充電ができません。
- 保管するときや、持ち運ぶときは、必ずバッテリーを外してください。

注意

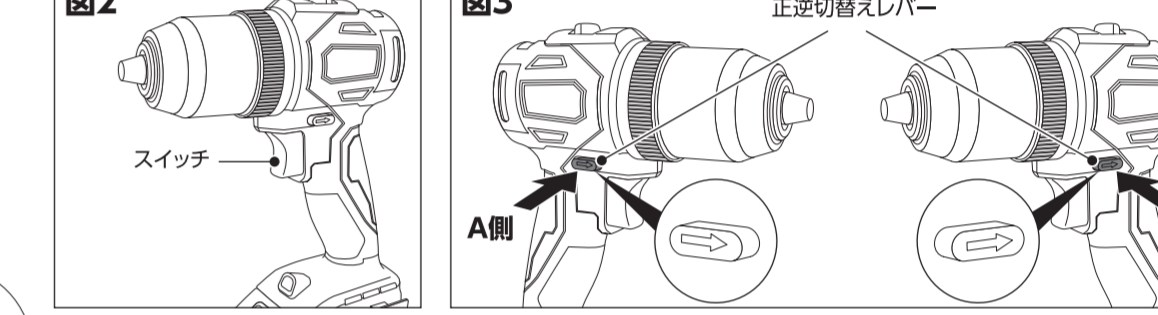
- 本機にバッテリーを差し込む前に、スイッチが切れていることを、必ず確認してください。
- スイッチに指を掛けて持ち運ばないでください。不意な始動により、思わぬけがの原因になります。

1 バッテリーの取付け・取り外し方

- ①バッテリーを取付けるときは、本機とバッテリーの溝を合わせ、確実に奥まで差し込んでください。(図1)
 - ②バッテリーを本機から外すときは、バッテリー取り出しボタンを押してスライドさせると取り外せます。(図1)
- ※差し込み後は、確実にロックされていることを確認してからご使用ください。確実にロックされていないときは、使用中にバッテリーが落下して思わぬ事故の原因となります。

2 スイッチの操作

- ①スイッチを引くと作動し、閉じます。(図2)
- ②スイッチの引き加減により回転数が調整できます。
- 低速と低速回転で、引くに従って回転が速くなります(図2)
- ③スイッチを離すとブレーキが作動して停止します。(図2)



注意

- 正逆切替レバーは中間ではスイッチがロックされて回転しません。最後まで押込んでください。
- 正逆回転の切替は、モーターの回転が完全に停止してから行ってください。回転中に切替えますと、故障の原因になります。

4 LEDライトについて

- ①本機にはLEDライトがついています。(図4)
 - ②スイッチを引くとライトが点灯し、工具の先端部を照らします。
- ※LEDライトはスイッチを引くと自動的に点灯し、一定時間たつと自動的に消灯します。

警告 ●ライトを直接のぞき込んだり、目にライトを当てないでください。目を傷める原因となります。

5 ビット等の取付け・取り外し方

- ①ドリルチャックのスリーブ部を右に回すと開き左に回すと締まります。(図5)
- ②ドリルチャックを開いた状態でドリルやキリ等のビットをチャックに差し込み、スリーブ部を左に回してカチッと音がするまでしっかり締め付けてください。
- ③取り外し際は逆の手順で行ってください。

警告 ●ピンやキリは取扱説明書に従って確実に取付けてください。外れたり、ケガの原因になります。

6 回転速度の切り替え

- ①速度切替レバーを1側にスライドさせると低速になり、2側にスライドさせると高速になります。(図6)
- ②速度切替レバーが正しい位置にセットされていることを確認し、作業にあつた速度でご使用ください。

表示されている数字	回転速度	締め付け力
1	遅い	強い
2	速い	弱い

警告

- 速度切替レバーは正しい位置にセットしてご使用ください。1側と2側の中間で使用すると、故障の原因となります。
- 速度の切り替えはモーターが完全に停止した状態で行ってください。回転中に切り替えると故障の原因となります。

7 締め付け力切り替えリング

- 締め付け力切り替えリングを回転させて締め付け力を切り替えます。(図7)
- 締め付け力切り替えリングは22段階切り替え可能です。矢印が指している数字が大きいほどトルクが強くなります。(図7)

- ネジ締めをする場合**
- ①締めネジの頭と最適なビットの先端を合わせ、スイッチを少しづつ引ながらビットがネジの頭から外れない程度の方で押し込みます。
 - ②規定した締め付け力(トルク)に達し、クラッチが動作(空転)したらスイッチを戻します。
 - ③本ネジを締め付けるときは、本ネジの径よりも少し細いキリで、下穴をあけておくことと材料が割れたりせず素に締め付けできます。

注意

- 締めネジに対して本製品をまっすぐ押してください。斜めだとネジの頭部を傷める原因になります。
- スイッチの引き加減や締め付け力の確認は事前に行ってください。
- 締め付け力の切り替えは、モーターの回転が停止した状態で行ってください。回転中に切り替えますと故障の原因になります。

■金属や木材に穴あけをする場合

- ①締め付け力切り替えリングを回転させて「ドリルマーク」を矢印に合わせます。
 - ②ドリル(キリ)の先端を穴のあけた位置に合わせてスイッチの引金を引きます。
 - ③穴があいたらスイッチの引金を戻し、ドリル(キリ)を引き抜きます。
- ※ドリルの作業時には締め付け力の調整は必要ありません。
- 金属の穴あけ時には、キリに油(マシン油など)をつけて作業をしてください。
- 金属に穴をあける場合は、穴をあける位置にセントラボチでさほみをつくり、そのほみにキリをあてがうように作業します。

警告 ●穴が貫通する際は慎重に作業をしてください。大きな力がかかりケガをするおそれがあります。

8 フックの取付け・取り外し方

- フックは作業の合間に一時的に本製品をベルトなどに掛ける場合にお使いください。
- ①取付けるときは、本製品の溝にフックを差し込んだ後、ネジで固定します。左右どちらにも取付け可能です。
- ②取り外すときは、ネジをゆるめてからフックを外します。

警告

- フックはベルトなどへの取り付け以外の用途(高所での落下防止など)には使用しないでください。
- フックに過度な負荷がかかるとフックが破損し、作業者及び周囲または下にいる人がケガをするおそれがあります。

バッテリーについて

警告

- バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。バッテリー液漏れ、発熱、破損のおそれがあります。
- 指定したバッテリー以外は充電しないでください。
- 約40分(YBP-1815の場合)で充電が完了しますが、充電が完了後はバッテリーを抜き取り電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。充電終了後にそのまま放置しないでください。火災・発熱・破損・液漏れのおそれがあります。
- 高温・多湿・霜の当たる場所では充電しないでください。故障の原因となります。
- 充電中は充電器のそばから離れないでください。
- 本機を使用されないときや保管される場合は、必ずバッテリーを外してください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期保管されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

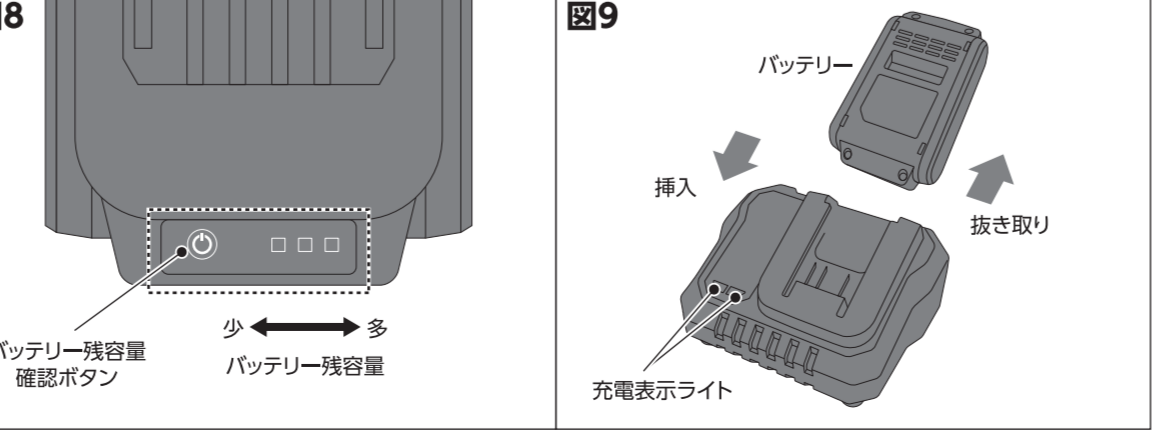
1 バッテリーの充電方法 ※必ず専用充電器[YCH-18V]をご使用ください。

- ①バッテリーの電源ボタンを押してバッテリー残量を確認できます。(図8)
- ①充電器の電源プラグを100Vの電源コンセントに差し込んでください。充電器の表示ライトが(赤)消灯・(緑)点滅になります。
- ②バッテリーを充電器の挿入口に入れて確実に奥まで挿入してください。(図9)
- ③バッテリーを挿入すると、充電器の表示ライトが(赤)消灯・(緑)点灯し充電を開始します。
- ④充電が完了すると、充電器の表示ライトが(赤)消灯・(緑)点灯になります。
- ⑤バッテリーを抜き取り、電源コンセントから充電器の電源プラグを抜いてください。
- ⑥高温待機時(赤)点滅・(緑)点灯の場合は、充電器のプラグを抜きバッテリーを冷ましてから再度充電してください。【充電不可】(赤)・(緑)2色点滅の場合は、バッテリーの故障もしくは寿命により充電できない状態です。

充電表示ライトの表示・内容

充電表示ライトの状態	充電表示ライトの内容
消灯 赤 緑 点滅	充電前
点灯 赤 緑 点灯	充電中
消灯 赤 緑 点灯	充電完了
点滅 赤 緑 消灯	高温待機
点滅 赤 緑 点滅	充電不可

ご不明な点は、お買い求められました販売店、または商品に関するお問い合わせ先までご相談ください。

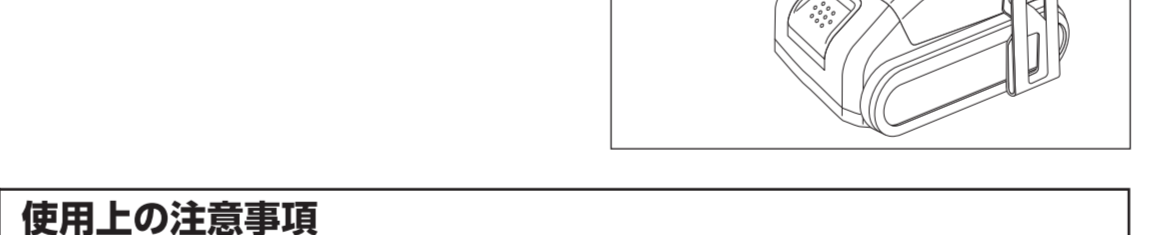


2 保護機能

遠征機種でご使用中、下記状態になるとモーターが停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

状態	対応方法
●ご使用機器が負荷状態になったとき。	スイッチレバーを一旦はなれ、再度操作をおこなってください。
●バッテリーの残容量が少なくなったとき。	専用充電器[YCH-18V]で充電してください。
●本機及びバッテリーの温度が高くなったとき。	本機及びバッテリーを冷ましてから再度ご使用ください。

保護機能がはたらくとライトが点滅します。(図10)

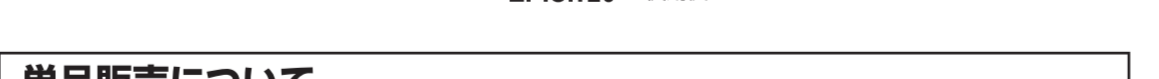


3 使用上の注意事項

- ご使用機器の力が弱くなってきたと感じたときは、充電してください。
- 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- 充電は周囲温度10℃～40℃の範囲でおこなってください。
- バッテリーを使用されない場合は、満充電にして保管してください。長期使用されない場合は、6ヶ月に1度は充電してください。長期充電をせず放置された場合、自然放電によりバッテリーの故障や寿命短縮の原因となります。

4 バッテリーの回収について

バッテリーは消耗品です。使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店へご持参ください。



5 単品販売について

リチウムイオンバッテリーは消耗品です。充電回数や保管方法により使用できなくなりますが、バッテリーが使用できなくなったときは、必ず指定のバッテリーを購入してご使用ください。

1.5Ah	2.5Ah	18V 充電器 YCH-18V JAN:4550533108057
-------	-------	-----------------------------------

リチウムイオンバッテリー YBP-1815 (充電完了時間:約40分) JAN:4550533108033

リチウムイオンバッテリー YBP-1825 (充電完了時間:約60分) JAN:4550533108040